

市立半田病院新病院建設工事に関するパートナーシップ協定書（案）

半田市立半田病院新病院建設工事（以下「本工事」という。）に関して、半田市（以下「発注者」という。）と株式会社内藤建築事務所（以下「設計者」という。）と ○○○○（以下「施工予定者」という。）とは、以下のとおりパートナーシップ協定（以下「本協定」という。）を締結する。

（本協定の目的）

第1条 本協定（以下「本プロポーザル」という。）において、施工予定者の技術提案書等を選定したことを確認し、令和●年●月●●日に本工事を完成・引渡しをするため、半田市立半田病院新病院建設設計業務委託における実施設計において発注者、設計者及び施工予定者が協力して、実施設計を円滑に完成させるための技術協力として必要な事項を定めることを目的とする。

（関係者間の調整、協力）

第2条 本設計の実施に係る発注者、設計者及び施工予定者間の調整は、発注者が行う。

2 発注者が行う調整に対し、設計者及び施工予定者は、真摯に対応し、協力する。

3 発注者、設計者及び施工予定者は、本協定の目的を達成するうえで採用すべき技術提案及びバリューエンジニアリング（「品質を下げないでコストを低減させる」又は「コストを上げないで品質を向上させる」方法）による提案（以下「VE提案」という。）の技術的・経済的課題を検討するため、半田病院新病院建設工事技術協力協議会（以下「三者協議会」という。）を設置する。なお、三者協議会とは、発注者、設計者及び施工予定者の三者により組織されるもので、実施設計時に施工予定者から提案される高度な技術提案及びVE提案並びに施工実施方針の採否を検討し、採用となった場合は、実施設計に反映させる組織をいう。

4 第1項に規定する調整は、発注者が主催する三者協議会において、発注者が、設計者及び施工予定者からの意見を踏まえた上で、関係者間の調整を行う。

（三者協議会の役割、責任）

第3条 三者協議会の役割、責任は添付の役割分担表（案）による。

2 完成した実施設計の設計責任は、設計者が負うものとする。ただし、施工予定者から提案され発注者により採用されたVE提案を実施設計に反映させるため、施工予定者が建築確認申請上のその他設計者となった場合は、施工予定者も実施設計への関与度合いに応じた設計責任を負うものとする。

（実施設計における技術協力等）

第4条 施工予定者は、本協定の目的を達成するため、本プロポーザル時において施工予定者から提案され発注者により採用された技術提案及びVE提案に限らず、更なる技術的提案及び経済的提案に努めるものとする。

2 設計者は、本プロポーザル時において施工予定者から提案され発注者により採用された技術提案及びVE提案だけでなく、実施設計段階における施工予定者からの更なる技術的提案及び経済

的提案の技術検証、コスト検証を行うとともに、本協定の目的を達成するため更なる技術的提案及び経済的提案を行うものとする。

(合意金額)

第5条 発注者と施工予定者において合意した工事費（以下「合意金額」という。）は、下記の通りとする（消費税額及び地方消費税の額を含む）。合意金額は、本工事における工事費の上限となる。

本工事の合意金額：〇〇, 〇〇〇, 〇〇〇, 〇〇〇 円

(有効期限)

第6条 本協定は、本協定の締結日から工事請負契約締結日の前日までとする。

(その他)

第7条 協力期間中の業務に関する費用は、すべて施工予定者の負担とし、発注者からの費用は発生しない。詳細な業務内容は、協議による。

2 本協定書に定めのない事項については、必要に応じて発注者、設計者及び施工予定者が協議して定めるものとする。

この協定の成立を証するため、本書3通を作成し、発注者、設計者及び施工予定者が記名押印の上、各1通を保有する。

令和3年〇月〇日

発注者

半田市東洋町二丁目1番地

半田市

半田市長 ●● ●●

設計者

名古屋市中区錦1丁目7番32号名古屋SIビル5階

株式会社 内藤建築事務所 名古屋事務所

所長 植田 善富

施工予定者

〇〇〇〇〇〇〇